

パブリックコメント時からの修正点

【北海道地域貢献活動指針（素案）】

頁	修正後	修正前(パブリックコメント時)	修正理由
7	<p>第4章 地域貢献活動の望ましい姿</p> <p>1 地域との連携促進 (2) 地域との意見交換の推進</p> <p>地域貢献活動は、地域の実情を十分に踏まえた上で進めることが重要であることから、<u>事業者や商業施設の設置者の皆さんは、市町村はもとより、</u>地域商業の活性化に関連のある地元商店街組織や商工会議所・商工会、消費者団体、住民等との意見交換の場を設置するとともに、日頃から交流する機会を設けることによって、地域のニーズを日常的に把握するよう努めてください。</p> <p>その際には、地域貢献活動に係る担当者を予め設定し、地域との日頃からの意見交換や交流が円滑に進められるよう配慮してください。</p>	<p>第4章 地域貢献活動の望ましい姿</p> <p>1 地域との連携促進 (2) 地域との意見交換の推進</p> <p>地域貢献活動は、地域の実情を十分に踏まえた上で進めることが重要であることから、市町村はもとより、地域商業の活性化に関連のある地元商店街組織や商工会議所・商工会、消費者団体、住民等との意見交換の場を設置するとともに、日頃から交流する機会を設けることによって、地域のニーズを日常的に把握するよう努めてください。</p> <p>その際には、地域貢献活動に係る担当者を予め設定し、地域との日頃からの意見交換や交流が円滑に進められるよう配慮してください。</p>	<p>道民意見を踏まえ、取組を呼びかける対象を明確にするため修正</p>

【北海道地域商業活性化方策（第2期）（素案）】

頁	修正後	修正前(ハブリックコメント時)	修正理由
一	<p>◆収益力を高める、来街者を増やす ○稼げる商店街づくり</p> <p><取組例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個店の魅力アップ、インターネットによる情報発信・販路開拓、人手不足に対応した働き方改革や、AIやIoTの導入など生産性向上の取組 	<p>◆収益力を高める、来街者を増やす ○稼げる商店街づくり</p> <p><取組例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個店の魅力アップ、インターネットを活用した販路拡大、人手不足に対応した働き方改革や、AIやIoTの導入など生産性向上の取組 	<p>来街者を増やし、収益力を高めるための取組の一つとして、ホームページやSNSなどによる商店街の魅力の発信や、インターネット通販の活用による商圏外への新たな販路の開拓などが必要との趣旨で、「インターネットを活用した販路拡大」と例示したが、道民意見を踏まえ、趣旨が伝わらないことが懸念されるため、「インターネットによる情報発信・販路開拓」に修正。</p>
一	<p>本方策は、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に資するものです。</p> <p>※持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals:SDGs）2015年9月に国連で採択された、先進国を含む2030年までの国際社会全体の開発目標。17のゴール（目標）とその下位目標である169のターゲットから構成。</p> <p>（欄外に追加）</p>	—	<p>本方策は、「北海道総合計画」（平成28年3月策定）に係る「特定分野別計画[※]」に位置付けられており、特定分野別計画の改定等に当たっては、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標やターゲットに関連のある計画に、その位置付けの記載が必要のため追記。</p> <p>※総合計画が示す政策の基本的な方向に沿って、策定、推進する特定分野における政策の基本的な方向等を明らかにする計画</p>